

【開会 午後2時】

1 開 会

2 競輪事業部長挨拶

○林部長 本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃から、函館競輪の運営にご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げる次第でございます。

さて、昨今の競輪界は、GⅠ、GⅡなど、ビッグレースの低調でありまして、厳しい状況が続いております。先般、発表された平成29年1月から12月までの全国の競輪業界の売り上げ集計によりますと、対前年比で101.1%となる、約6,401億6,000万円を売り上げ、微増ではありますが、4年連続で前年を上回ったところであります。

また、函館競輪については、平成29年度は、4月18日に開幕、10月13日までの計16回49日間開催し、事故なく、無事終了することができましたが、売り上げについては、低調でありました。非常に好調であった平成28年度実績と同額程度の155億円を目標に設定したものの、結果的には、約145億円にとどまり、予算比で10億円弱の減となっております。

その要因のひとつとして、売り上げに大きく影響を及ぼす条件のうち、他の競輪場との競合が、平成28年度に比べ大幅に増えたこと、また、競合が増えたことで、結果的に、他の競輪場およびサテライトにおいて、函館競輪を発売協力していただく臨時場外車券売り場としての取り扱いが減ったことが減収につながったものと考えております。

一方で、平成28年度に更新した開催業務包括委託契約による毎年度2億円の収益保証もあり、過去には、最大で約7億9千万円あった累積赤字が、平成29年度末に解消できる見込みであります。

このような状況も踏まえ、今後は、これまで以上に、積極的に事業展開したいと考えており、その一環として、平成30年度は、6月にGⅢグレードの函館記念競輪、これは毎年昼間開催をしておりましたが、ナイター

で開催させていただきます。また、函館競輪場から発祥したナイトー競輪が、20周年の節目の年にあたることから、「函館ナイトー競輪20周年記念」と称して、GⅢグレードのナイトーをもう1本、4月に開催することが決定したところであります。

こうした話題性の高いレースも活かしながら、北海道で唯一の競輪場として、効果的・効率的な事業運営に向けた取り組みを進め、函館競輪の発展に努めてまいりたいと考えておりますので、皆様の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

本日は、限られた時間ではございますが、よろしく願いいたします

3 協議事項

(7) 函館市競輪運営協議会の副会長の選出について

(資料1ページに基づき米田事業課長から説明)

- 米田課長 会長および副会長の選出については、函館市自転車競走条例施行規則第4条第2項の規定により、委員の互選となっている。
- 今井会長 事務局から報告があったとおり、副会長は委員の互選となっている。どのような方法が良いか。
- 穴田委員 今まで金堀・広野町会の会長が運営協議会の副会長をしていた。これを続けて、千葉委員にお願いすることはできないか。

(各委員：異議なし)

- 千葉副会長 副会長の職をつとめさせていただくことになったので、よろしく願いいたします。

(1) 平成29年度自転車競走事業特別会計補正予算(案)について

(資料2～5ページに基づき米田事業課長から説明)

- 今井会長 質問等ないか。

(各委員：特になし)

(ウ) 平成30年度函館競輪上期開催日程（案）について

（資料6ページに基づき米田事業課長から説明）

○今井会長 質問等ないか。

（各委員：特になし）

(イ) 平成30年度自転車競走事業特別会計予算（案）について

（資料7～11ページに基づき米田事業課長から説明）

○今井会長 質問等ないか。

○今井会長 繰出金について、平成11年度以来の再開ということであるが、金額に基準はあるのか。あるいは、プラスの収益となったとき、その都度、いくら繰出できるかといった形になるのか。

○米田課長 特に基準はない。市財政への貢献は、競輪事業の大事な目的のひとつと認識しているが、基本的には施設の改修費として基金への積立を優先させてもらう。

改修費については当該年度の収益の中から支出するが、これに不足がある場合は基金から繰り入れて充当する。施設の改修は、その必要性や施設の状態で優先順位をつけ実施する。大きく直す年度もあれば、そうでない年度もある。大きく直す年度は基金に回す分が減る。この逆もある。基金の残高が不足しないようにバランスを考えながら、一般会計には7千万円を基本の額として繰り出しつつ、基金を積み立てる。

売上についても、ビッグレースの有無などにより、ふけさめがあるので必ずしも決まった額を積み立てられるわけではない。

○今井会長 来年度はGⅢが2本あるとのことだが、期待できるか。

○米田課長 我々も期待している。

○穴田委員 競走路改修費と有るが、去年は5,400万円、今年は3,400万円を組んでいるが競走路を直すのか。

○米田課長 平成30年度は競走路のウォークトップの改修である。

- 穴田委員 施設改修費とは何か。
- 米田課長 施設改修費は競走路以外である。建物や屋根の改修である
- 穴田委員 平成29年度は施設改修費を組んでいないが、平成30年度から組むのか。
- 米田課長 以前も施設改修費はあった。
- 穴田委員 競走路改修費，施設改修費を組んで，なおかつ，一般会計へ7千万円繰り出せる。久しぶりであるが何年ぶりか。
- 米田課長 平成11年度以来なので，19年ぶりである。これも累積赤字を解消できることが大きい。
- 穴田委員 日本トーターとの平成30年度の包括委託契約の関係で，収益保証はあるのか。
- 米田課長 平成30年度については収益保証を活用しなくても，自力で収益2億円を出せると見込んでいる。
- 穴田委員 それは，収益保証をもらわないということか。
- 米田課長 契約では収益2億円を下回った場合に，保証してもらうものである。
- 穴田委員 5年間で各年2億円をもらうわけではないのか。
- 米田課長 そういうわけではない。収益2億円に満たない場合は保証してもらう。収益2億円を自力で稼げば，収益保証はない。
- 今井会長 勘違いしやすい。5年間収益が2億円に満たない場合に保証してもらう契約である。契約は平成32年度までである。
- 今井会長 事務局，委員から何かあるか？
(事務局・各委員：特になし)

=以上をもって終了=